

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-159189

(43)Date of publication of application : 12.06.2001

(51)Int.Cl.

E03F 5/06

(21)Application number : 11-358950

(71)Applicant : KANESO CO LTD

(22)Date of filing : 17.12.1999

(72)Inventor : KOBAYASHI MASAKAZU

(30)Priority

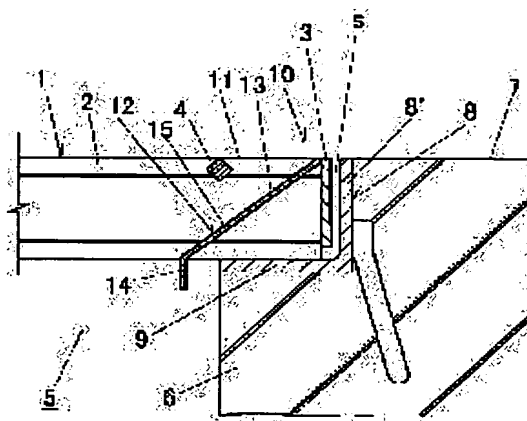
Priority number : 11264740 Priority date : 20.09.1999 Priority country : JP

(54) FOREIGN MATTERS ACCUMULATION PREVENTING DEVICE IN GRATING DITCH COVER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a foreign matters accumulation preventing device capable of preventing the accumulation on a receiving edge for foreign matters contained in draining in a grating ditch cover borne by a pair of receiving edges providing both side edges to the upper parts of both side walls in a water channel and covered by the water channel.

SOLUTION: A coated member 12 for covering receiving edges 9 and 9 is placed to both side edges 10 and 10 of a grating ditch cover 1, and foreign matters such as small dirt, sludge or the like contained in draining are prevented from being accumulated on the receiving edges 9 by coating operation of the coated member 12.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

15.06.2005

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-159189

(P2001-159189A)

(43) 公開日 平成13年6月12日 (2001.6.12)

(51) Int.Cl.⁷

E 0 3 F 5/06

識別記号

F I

E 0 3 F 5/06

データベース (参考)

Z 2 D 0 6 3

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平11-358950
(22) 出願日 平成11年12月17日 (1999. 12. 17)
(31) 優先権主張番号 特願平11-264740
(32) 優先日 平成11年9月20日 (1999. 9. 20)
(33) 優先権主張国 日本 (J P)

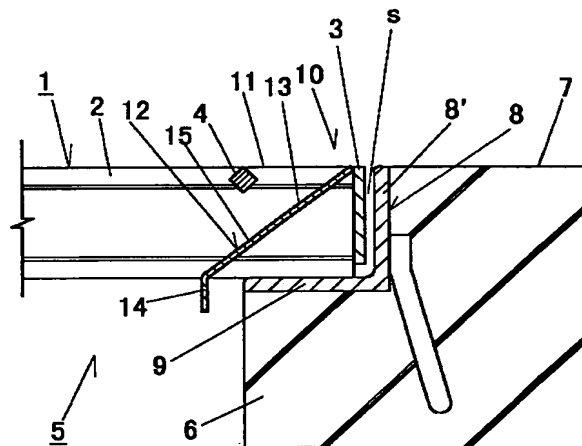
(71) 出願人 592094243
カネソウ株式会社
三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
(72) 発明者 小林 正和
三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
(74) 代理人 100084043
弁理士 松浦 喜多男
Fターム (参考) 2D063 CB06 CB11

(54) 【発明の名称】 グレーチング溝蓋における異物堆積防止装置

(57) 【要約】

【課題】 両側縁が、通水溝路の両側壁上部に設けられた一対の受縁に支持されて通水溝路に被着されるグレーチング溝蓋にあって、排水に含まれている異物の受縁上における堆積を防止し得る異物堆積防止装置を提供する。

【解決手段】 グレーチング溝蓋1の両側縁10、10に、受縁9、9を覆う被覆部材12を配設し、該被覆部材12の被覆作用によって、排水に含まれている小さなゴミや泥土等の異物が受縁9上に堆積しないようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】所定間隔で並列した複数のメインバーを備え、各メインバーの両端部が位置する両側縁が、通水溝路の両側壁上部に配設された一对の受縁に支持されて通水溝路に被着されるグレーチング溝蓋において、前記グレーチング溝蓋の両側縁に、受縁を覆う被覆部材を配設したことを特徴とするグレーチング溝蓋における異物堆積防止装置。

【請求項2】被覆部材が、隣接する各メインバー間に配設されて、グレーチング溝蓋の側縁から受縁の内端側に至る下方傾斜面を備えてなることを特徴とする請求項1に記載したグレーチング溝蓋における異物堆積防止装置。

【請求項3】被覆部材が、グレーチング溝蓋の側縁から受縁の内端側に下方傾斜する傾斜板により構成されていることを特徴とする請求項2に記載したグレーチング溝蓋における異物堆積防止装置。

【請求項4】被覆部材が、グレーチング溝蓋の側縁からグレーチング溝蓋の上面と略同一高さで外側方に延成された水平板部と、隣接する各メインバー間に配設され、前記水平板部に連続させてグレーチング溝蓋の側縁から受縁の内端側に下方傾斜する複数の傾斜板部とにより構成されていることを特徴とする請求項2に記載したグレーチング溝蓋における異物堆積防止装置。

【請求項5】受縁に、通水溝路の外側方に延出されて、水平板部を支持する支持縁を連成したことを特徴とする請求項4に記載したグレーチング溝蓋における異物堆積防止装置。

【請求項6】支持縁の外端に、突出高さが水平板部の厚みに略一致し、かつ通水溝路の側壁上面の高さを規定する規定突縁を上方突成したことを特徴とする請求項5に記載したグレーチング溝蓋における異物堆積防止装置。

【請求項7】被覆部材が、グレーチング溝蓋の側縁から受縁の内端側に至る下方傾斜面を備えた樹脂ブロックにより構成されていることを特徴とする請求項2に記載したグレーチング溝蓋における異物堆積防止装置。

【請求項8】被覆部材が、グレーチング溝蓋の両側縁上に、該側縁に沿って配設された帯状被覆板によって構成されていることを特徴とする請求項1に記載したグレーチング溝蓋における異物堆積防止装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、排水溝等の通水溝路に被着されるグレーチング溝蓋の異物堆積防止装置に関する。

【0002】

【従来の技術】通水溝路に被着される溝蓋にあって、所定間隔で並列した複数のメインバーと、適数本のクロスバーとを格子状に組み付け、かつ、各メインバーの両端部に沿ってサイドバーを夫々差し渡してなるグレーチ

ング溝蓋が知られている。

【0003】かかるグレーチング溝蓋aは、サイドバーbが位置する両側の側縁cが、図10に示すように、通水溝路dの側壁上部eに設けられた受縁fに夫々支持されて通水溝路dに被着される。そして、隣接する各メインバーgの間に形成されている間隙から、雨水や汚水等の排水を通水溝路dに流入させ得るようになっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところで、雨水や汚水等の排水には、小さなゴミや泥土等の異物が含まれている場合が多く、これらの異物が排水とともに通水溝路dに流入するのであるが、周囲の舗面から流れてくる異物を含んだ排水は、主にグレーチング溝蓋aの側縁c部分から該溝蓋a内に流れ込み、サイドバーbの内側面や、該内側面に近接する各メインバーgの端部側面に沿って流下するため、その下に位置する受縁f上で、該受縁fとサイドバーbやメインバーgとによって生じる直角状のコーナー部分に、図10に鎖線で示すように、流れ切らない異物xが次第に堆積してしまうという問題点があった。また、このように異物xが堆積すると、美観性が悪く、さらにその除去に手間がかかるという問題点があった。

【0005】本発明は、かかる問題点を解消し得るようにしたグレーチング溝蓋における異物堆積防止装置を提供することを目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は、所定間隔で並列した複数のメインバーを備え、各メインバーの両端部が位置する両側縁が、通水溝路の両側壁上部に配設された一对の受縁に支持されて通水溝路に被着されるグレーチング溝蓋において、該グレーチング溝蓋の両側縁に、受縁を覆う被覆部材を配設したことを特徴とするグレーチング溝蓋における異物堆積防止装置である。

【0007】かかる構成にあって、グレーチング溝蓋の両側縁に配設した被覆部材によって受縁が覆われていることにより、排水に含まれている小さなゴミや泥土等の異物が受縁上に堆積することがない。

【0008】また、上記構成にあって、被覆部材が、隣接する各メインバー間に配設されて、グレーチング溝蓋の側縁から受縁の内端側に至る下方傾斜面を備えてなるようにしてもよい。

【0009】この下方傾斜面の形成手段として、被覆部材を、グレーチング溝蓋の側縁から受縁の内端側に下方傾斜する傾斜板により構成したり、あるいは、グレーチング溝蓋の側縁から受縁の内端側に至る下方傾斜面を備えた樹脂ブロックにより構成したものが、好適な実施態様として提案され得る。

【0010】上記のように、受縁を覆う被覆部材に下方傾斜面を設けることにより、流水の案内作用を生じ、グレーチング溝蓋の側縁から流れ込む異物を含んだ排水

が、下方傾斜面に沿って円滑に流れ、該傾斜面末端から通水溝路に直接的に落下させることができる。

【0011】また、被覆部材を、グレーチング溝蓋の側縁からグレーチング溝蓋の上面と略同一高さで外側方に延成された水平板部と、隣接する各メインバー間に配設され、前記水平板部に連続させてグレーチング溝蓋の側縁から受縁の内端側に下方傾斜する複数の傾斜板部とによって構成するようにしてもよい。

【0012】この構成にあっては、上記のように、傾斜板部の下方傾斜面によって、流水の案内作用が得られるとともに、グレーチング溝蓋の側縁から外側方に延成された水平板部によって、グレーチング溝蓋の外側部に生じる隙間を覆うことができるため、該隙間内へ排水が流入せず、該隙間内での異物の堆積を防止することができる。

【0013】さらに、上記構成にあって、受縁に、通水溝路の外側方に延出されて、水平板部を支持する支持縁を連成する構成が提案され得る。このように、受縁に水平板部を支持する支持縁を設けることにより、該支持縁によって水平板部をガタ付きなく整一に支持することが可能となる。また、該支持縁の外端に、突出高さが水平板部の厚みに略一致し、かつ通水溝路の側壁上面の高さを規定する規定突縁を上方突成する構成が提案され得る。そして、この規定突縁の上面の高さに、通水溝路の側壁上面を一致させて施工することにより、支持縁に支持される水平板部の上面と、通水溝路の側壁上面とを略面一とすることができる。これにより、水平板部の厚みによる段差が生じることがなく、該水平板部の端部に墮くような危険性を解消することができる。

【0014】また、被覆部材を、グレーチング溝蓋の両側縁上で、該側縁に沿って配設した帯状被覆板によって構成することもできる。この構成にあっては、二枚の帯状被覆板をグレーチング溝蓋の両側縁上に溶接等の接合手段を介して夫々固着するだけでよいから、製作が容易で手間がかからず、製造コストを低減し得るものとなる。

【0015】

【発明の実施の形態】以下に、本発明に係るグレーチング溝蓋における異物堆積防止装置の第一実施例を、図1～図3について説明する。

【0016】グレーチング溝蓋1は、所定間隔で並列した複数のメインバー2と、各メインバー2の両端部に沿って夫々差し渡された二本のサイドバー3と、各メインバー2に直交状に差し渡された適数本のクロスバー4とによって構成されている。ここで、メインバー2及びサイドバー3には、帯板状の金属型材が用いられ、また、クロスバー4には、軸線回りの捩り加工を施した断面四角形の棒状金属杆が用いられ、これらが溶接等による接合手段を介して一体に組付けられている。尚、各メインバー2の両端部に沿って夫々差し渡された二本の

サイドバー3は、各メインバー2の端部を連結してグレーチング溝蓋1の堅牢性を高めるためのものであり、この第一実施例ではサイドバー3がメインバー2の外端面に配設されている。

【0017】一方、上記グレーチング溝蓋1が被着される排水溝等の通水溝路5には、その両側壁上部6、6にL形の受枠8、8が対向状に配設されており、各受枠8、8の水平縁部をグレーチング溝蓋1の受縁9、9としている。そして、該受縁9、9上に、前記サイドバー3、3が位置するグレーチング溝蓋1の両側縁10、10を乗載して支持させることにより、グレーチング溝蓋1を通水溝路5に被着するようにしている。また、この被着状態において、図2に示すように、グレーチング溝蓋1の上面11と、通水溝路5の側壁上面7とが略同一高さとなるようにしている。

【0018】前記グレーチング溝蓋1の両側縁10、10には、その被着状態で受縁9、9を覆う被覆部材12が配設されており、該被覆部材12によって異物堆積防止装置が構成されている。この第一実施例では、被覆部材12が、図2に示すように、サイドバー3から受縁9の内端側に下方傾斜する金属製の傾斜板13により構成されており、該傾斜板13を、図3に示すように、隣接する各メインバー2、2間に夫々配設して、所要部位を溶接等による接合手段を介してサイドバー3及びメインバー2に固着させている。ここで、傾斜板13は、その横幅が隣接する各メインバー2、2の間隔と略同一幅となっており、下部に位置する受縁9を略全面的に覆い得るようにしている。また、各傾斜板13の下端部は、受縁9の内端からさらに内方に離れた位置で垂直状に下方屈曲されて、メインバー2の下端から突出しており、この下端部を水切り縁14としている。そして、該傾斜板13の上面が、グレーチング溝蓋1の側縁10から受縁9の内端側に至る下方傾斜面15となっている。

【0019】かかる構成にあって、周囲の舗面から流れてくる小さなゴミや泥土等の異物を含んだ排水が、グレーチング溝蓋1の側縁10部分から該溝蓋1内に流れ込むと、被覆部材12としての各傾斜板13の下方傾斜面15によって流水の案内作用が生じ、前記排水がサイドバー3の上部から下方傾斜面15に沿って円滑に流れ、該傾斜面15の終端の水切り縁14から通水溝路5に直接的に落下することとなる。そして、このように、傾斜板13の下方傾斜面15によって、排水を通水溝路5に直接導く案内作用が得られると同時に、該傾斜板13によって受縁9が覆われていることにより、該受縁9上における排水中の異物の堆積を防止することができる。

【0020】尚、上記実施例では、被覆部材12を構成する傾斜板13を複数個に分割形成しているが、該傾斜板13は下端部の水切り縁14部分を連続させて一体形成するようにしてもよい。この一体形成は、所要の大きさの帯板に対して、隣接するメインバー2、2の間隔毎

に、メインバー2の厚みに一致する複数の切欠溝を、プレスによる打ち抜き加工等によって形成した後、連続する水切り縁14部分を屈曲させることにより成し得る。このように傾斜板13を一体形成することにより、各下方傾斜面15の傾斜角度を容易に揃え得るとともに、溶接箇所を減らして取付け作業を簡単化し得る利点がある。

【0021】図4、図5は、上記第一実施例の変形実施例を示し、この実施例は、受縁9を覆う被覆部材12を、グレーチング溝蓋1の側縁10からグレーチング溝蓋1の上面11と略同一高さで外側方に延成された水平板部13aと、隣接する各メインバー2、2間に配設され、前記水平板部13aに連続させてグレーチング溝蓋1の側縁10から受縁9の内端側に下方傾斜する複数の傾斜板部13bとにより構成したものである。そして、該傾斜板部13bの上面が、グレーチング溝蓋1の側縁10から受縁9の内端側に至る下方傾斜面15となっている。また、この実施例では、サイドバー3をメインバー2の端部の下面に配設するようにしている。

【0022】ここで、受枠8、8を介して通水溝路5に被着されるグレーチング溝蓋1は、その外側部と、受枠8の垂直縁部8'との間に、グレーチング溝蓋1の着脱を容易とするための若干の隙間sが生じるようにしているのが普通である。第一実施例では図2に示すように、該隙間sの上部が開放されていることにより、該隙間sに小さなゴミや泥土等の異物を含んだ排水が流れ込んで、該異物が隙間s内に堆積する虞がある。そこで、この変形実施例では、被覆部材12の水平板部13aによって該隙間sを覆うようにしている。

【0023】被覆部材12を構成する水平板部13aと複数の傾斜板部13bは、所要の大きさの帯板に対して、各メインバー2、2の間隔に略一致する複数の傾斜板部13bをプレスによる打ち抜き加工等によって形成した後、各傾斜板部13bを所定角度で下方傾斜させることにより一体形成されており、水平板部13aをグレーチング溝蓋1の側縁10からメインバー2の上面と略同一高さで外側方に突出させた状態で、各傾斜板部13bを隣接する各メインバー2、2間に夫々配設し、所要部位を溶接等による接合手段を介してメインバー2に固着するようにしている。これにより、水平板部13aでグレーチング溝蓋1の外側部に生じる隙間sの上部を覆い、かつ、該水平板部13aに連続する傾斜板部13bで受縁9を略全面的に覆い得るようにしている。

【0024】一方、通水溝路5の側壁上部6に配設された受縁9には、L形の受枠8の垂直縁部8'を介して支持縁19が連成されている。該支持縁19は、倒L形の型材20の垂直縁部20'を前記受枠8の垂直縁部8'に溶接等の接合手段を介して固着することにより、通水溝路5の外側方に延出されており、該支持縁19によって前記被覆部材12の水平板部13aを支持するように

している。また、該支持縁19の外端には、突出高さが水平板部13aの厚みに略一致し、かつ通水溝路5の側壁上面7の高さを規定する規定突縁21が上方突成されている。そして、該規定突縁21の上面の高さに、通水溝路5の側壁上面7を一致させて施工することにより、支持縁19に支持される水平板部13aの上面と、通水溝路5の側壁上面7とが略面一となるようにしている。

【0025】かかる構成にあって、被覆部材12の水平板部13aによって、グレーチング溝蓋1の外側部に生じる隙間sが覆われていることにより、周囲の舗面から流れてくる小さなゴミや泥土等の異物を含んだ排水は、水平板部13a上を通過して傾斜板部13bへと流れる。これにより、グレーチング溝蓋1の外側部の隙間sに排水が流れ込むことがなく、該隙間s内の異物の堆積を防止することができる。また、水平板部13aを介して傾斜板部13bへ流れる排水は、傾斜板部13bの下方傾斜面15に沿って円滑に流れ、その終端から通水溝路5に直接的に落下することとなる。そして、このように、傾斜板部13bの下方傾斜面15によって、排水を通水溝路5に導く案内作用が得られると同時に、該傾斜板部13bによって受縁9が覆われていることにより、該受縁9上における排水中の異物の堆積を防止することができる。

【0026】また、受縁9に水平板部13aを支持する支持縁19が連成されていることにより、該支持縁19によって水平板部13aをガタ付きなく整一に支持することができる。また、該支持縁19の外端に設けられた規定突縁21によって、水平板部13aの上面と、通水溝路5の側壁上面7とが略面一となるように施工し得るので、水平板部13aの厚みによる段差が生じることがなく、該水平板部13aの端部に墮くような危険性を解消することができる。

【0027】尚、この実施例では、受枠8に、別体形成した倒L形の型材20を固着することにより、水平板部13aを支持する支持縁19を受縁9に連成するようにしているが、これに代えて、受縁9と水平板部13aとを一体成形するようにしてもよい。

【0028】図6、図7は、第二実施例を示し、この実施例は、受縁9を覆う被覆部材12を、グレーチング溝蓋1の側縁10から受縁9の内端側に至る下方傾斜面15を上面に備えた樹脂ブロック16により構成したものである。該樹脂ブロック16は、グレーチング溝蓋1の両側縁10、10位置で、隣接する各メインバー2、2間に夫々配設されており、下部に位置する受縁9を略全面的に覆い得るようにしている。この樹脂ブロック16の素材としては、耐候性及び耐薬品性に優れたものが望ましく、これにはエポキシ樹脂、ポリプロピレン樹脂等の合成樹脂が好適に使用され得る。また、該樹脂ブロック16の形成は、グレーチング溝蓋1を裏返した状態で、その両側縁10、10部分の各メインバー2、2間

に型枠をサイドバー3から斜めに宛がって、断面倒三角形状の充填空間を設け、該充填空間に前記合成樹脂溶液を充填して凝固させる形成手段が用いられ得る。これにより、樹脂ブロック16がメインバー2、2及びサイドバー3に固着して一体化する。また、該樹脂ブロック16は、別途形成したものを接着剤を用いて固着させるようにしてもよい。

【0029】かかる構成にあっても、第一実施例と同様に、グレーチング溝蓋1の側縁10部分から流れ込む異物を含む排水を、下方傾斜面15の案内作用によって、該傾斜面15の終端から通水溝路5に直接的に落下させることができるとともに、樹脂ブロック16によって受縁9が覆われているので、該受縁9上における異物の堆積を防止することができる。

【0030】図8、図9は、第三実施例を示し、この実施例は、グレーチング溝蓋1の両側縁10、10上に、帯状被覆板17、17を夫々配設したものであって、各帯状被覆板17によって受縁9を覆う被覆部材12が夫々構成されている。両帯状被覆板17、17は、グレーチング溝蓋1のサイドバー3から中央部側に亘る所要の横幅を備え、かつグレーチング溝蓋1に一致する長さを備えた金属板からなり、該金属板がグレーチング溝蓋1の両側縁10、10上に、その長手方向に沿って配設され、所要部位が溶接等による接合手段によってメインバー2及びサイドバー3に固着されている。そして、この帯状被覆板17、17の配設状態にあつて、両帯状被覆板17、17の中央寄り端縁間に所要幅の通水間隙18が生じるようにしている。

【0031】かかる構成にあつて、周囲の舗面から流れて来る異物を含む排水がグレーチング溝蓋1の両側縁10、10に達すると、該排水は帯状被覆板17上をさらに流れ、通水間隙18から通水溝路5に直接的に落下することとなる。そして、この帯状被覆板17からなる被覆部材12によって受縁9が覆われていることにより、該受縁9上における異物の堆積を防止することができる。また、この実施例の構成は、二枚の帯状被覆板17、17を、グレーチング溝蓋1の両側縁10、10上に溶接等の接合手段を介して夫々固着するだけでよいため、製作が容易で手間がかからず、製造コストを低減し得るものとなる。

【0032】尚、上記各実施例にあつては、所定間隔で並列した複数のメインバー2の両端部に沿って夫々差し渡された二本のサイドバー3を備えてなるグレーチング溝蓋1について説明したが、本発明に係る異物堆積防止装置は、サイドバー3を持たないグレーチング溝蓋にも適用することが可能である。

【0033】

【発明の効果】本発明は上述のように、グレーチング溝蓋1の両側縁10、10に、受縁9、9を覆う被覆部材12を配設したから、該被覆部材12によって、排水に

含まれている小さなゴミや泥土等の異物の受縁9上における堆積を防止することができる。これにより、美観性が向上し、また、異物の除去作業を不要とすることができる。

【0034】また、上記被覆部材12を、隣接する各メインバー間2、2に配設された、グレーチング溝蓋1の側縁10から受縁9の内端側に至る下方傾斜面15を備えた傾斜板13や樹脂ブロック16によって構成することにより、該傾斜板13や樹脂ブロック16の被覆作用によって受縁9上における異物の堆積を防止することができるとともに、下方傾斜面15によって流水の案内作用が得られ、排水をグレーチング溝蓋1の側縁10の上部から下方傾斜面15に沿って円滑に流下させて、通水溝路5に直接流し込むことができる。

【0035】また、上記被覆部材12を、グレーチング溝蓋1の側縁10からグレーチング溝蓋1の上面11と略同一高さで外側方に延成された水平板部13aと、隣接する各メインバー2、2間に配設され、前記水平板部13aに連続させてグレーチング溝蓋1の側縁10から受縁9の内端側に下方傾斜する複数の傾斜板部13bとによって構成することにより、傾斜板部13bの下方傾斜面15によって、流水の案内作用が得られるとともに、グレーチング溝蓋1の側縁10から外側方に延成された水平板部13aによって、グレーチング溝蓋1の外側部に生じる隙間sを覆うことができるため、該隙間s内へ排水が流入せず、該隙間s内での異物の堆積を防止することができる。

【0036】さらに、上記構成にあつて、受縁9に、通水溝路5の外側方に延出されて、水平板部13aを支持する支持縁19を連成することにより、該支持縁19によって水平板部13aをガタ付きなく整一に支持することができる。また、該支持縁19の外端に、突出高さが水平板部13aの厚みに略一致し、かつ通水溝路5の側壁上面7の高さを規定する規定突縁21を上方突成することにより、該規定突縁21によって、水平板部13aの上面と、通水溝路5の側壁上面7とが略面一となるように施工し得るので、水平板部13aの厚みによる段差が生じることがなく、該水平板部13aの端部に躓くような危険性を解消することができる。

【0037】また、上記被覆部材12を、グレーチング溝蓋1の両側縁10、10上に、該側縁10、10に沿って配設された帯状被覆板17、17によって構成することにより、該帯状被覆板17、17の被覆作用によって受縁9上における異物の堆積を防止することができるとともに、二枚の帯状被覆板17、17をグレーチング溝蓋1の両側縁10、10上に溶接等の接合手段を介して夫々固着するだけで被覆部材12を構成し得るので、製作が容易で手間がかからず、上記傾斜板13や樹脂ブロック16を用いる場合に比して製造コストが低減する等の優れた効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第一実施例に係る異物堆積防止装置を備えたグレーチング溝蓋の施行状態の平面図である。

【図2】同上のグレーチング溝蓋の要部の縦断側面図である。

【図3】同上のグレーチング溝蓋の要部の斜視図である。

【図4】第一実施例の変形実施例に係る異物堆積防止装置を備えたグレーチング溝蓋の要部の縦断側面図である。

【図5】同上のグレーチング溝蓋の要部の斜視図である。

【図6】第二実施例に係る異物堆積防止装置を備えたグレーチング溝蓋の要部の縦断側面図である。

【図7】同上のグレーチング溝蓋の要部の斜視図である。

【図8】第三実施例に係る異物堆積防止装置を備えたグレーチング溝蓋の施行状態の平面図である。

【図9】同上のグレーチング溝蓋の要部の縦断側面図である。

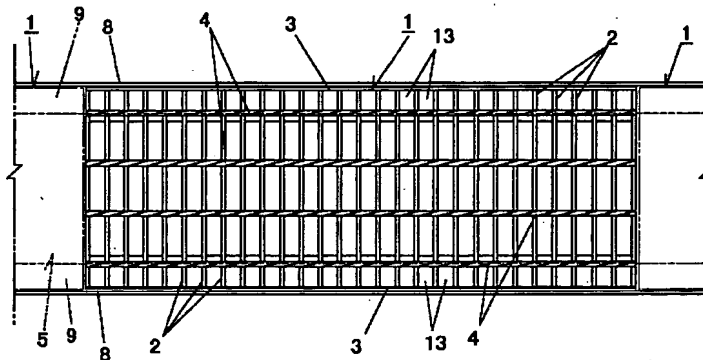
*【図10】従来構成のグレーチング溝蓋の要部の縦断側面図である。

【符号の説明】

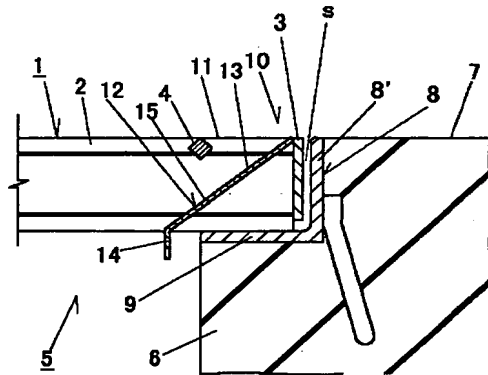
- 1 グレーチング溝蓋
- 2 メインバー
- 5 通水溝路
- 6 側壁上部
- 7 側壁上面
- 9 受縁
- 10 側縁
- 12 被覆部材
- 13 傾斜板
- 13 a 水平板部
- 13 b 傾斜板部
- 15 下方傾斜面
- 16 樹脂ブロック
- 17 带状被覆板
- 19 支持縁
- 21 規定突縁

*20

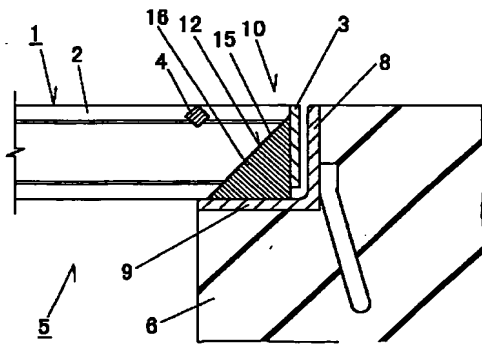
【図1】



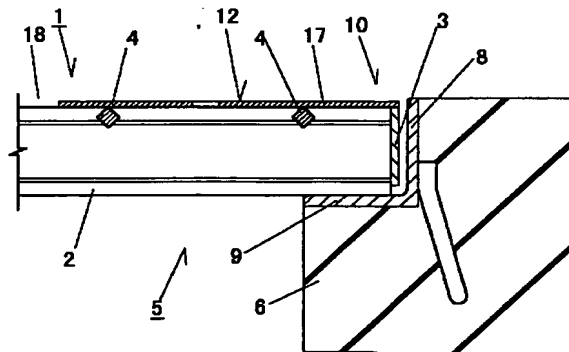
【図2】



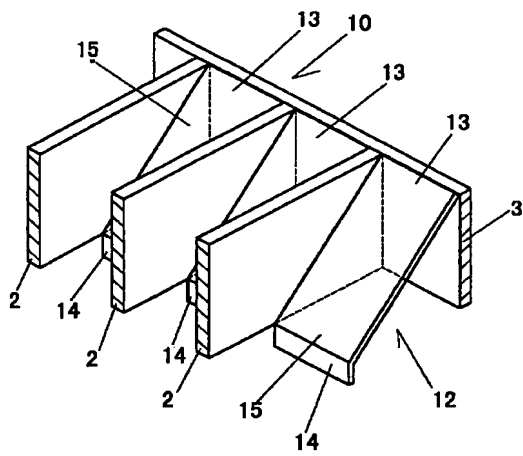
【図6】



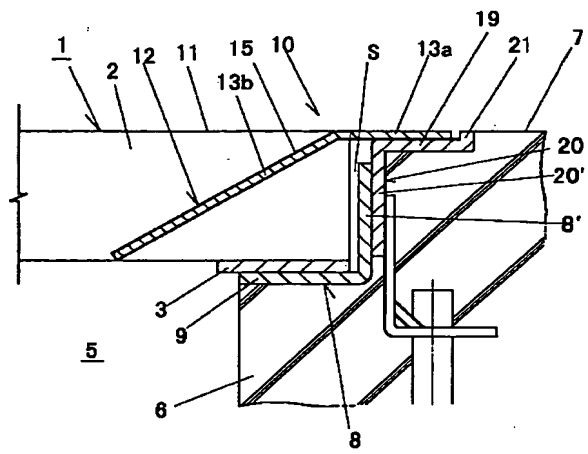
【図9】



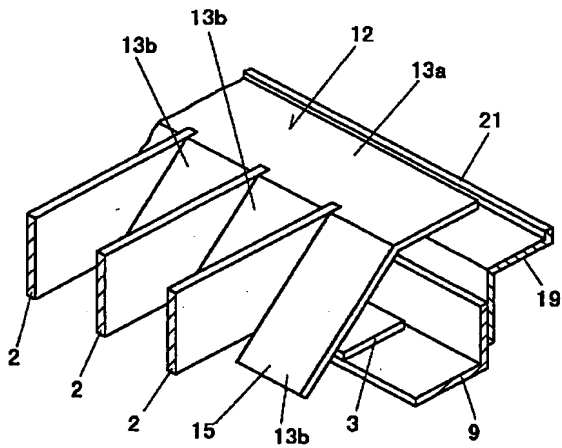
【図3】



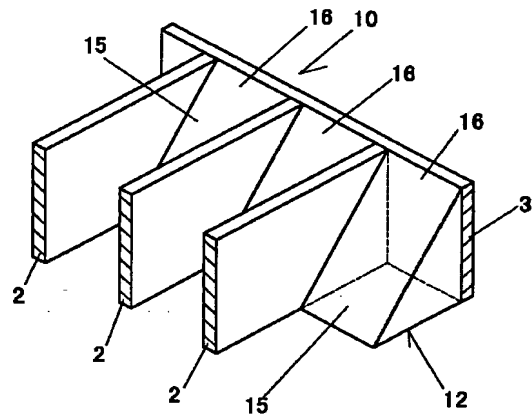
【図4】



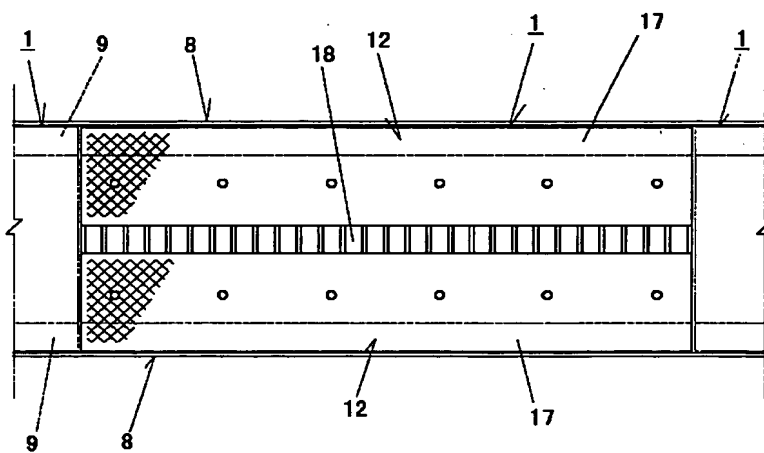
【図5】



【図7】



【図8】



【図10】

